

柱	基本方針			取組	実施時期												中期	長期		
	方向性	取組内容	目指す姿		具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			3月	
2 子どもの 主体性を 育てます	子どもの 主体性を 育む授業 へ転換し ます	主体的・対話的で深い 学びの教育を年間 を通じて進めます	友達の意見を大事し ながら、主体的に課題 解決に取り組む子ど も	主体的・対話的で深い学びをふまえた校内授 業研究を実施します。 日々の学習活動で合意形成を図る話し合い の場の充実を図ります。														継続	継続	
	子どもが 参画する 学校づくり を行います	学校行事は子ども主 体で行います	集団への一員である ことに対する自覚を高 め、人と人とのふれあ いやつなかりを深め る子ども	児童会で学校における諸問題について考え、 行事については児童が主体となって話し合 い、実施します。	会議 1年生を迎 える会	会議	運動会	会議					音楽会 図工展	会議		会議	6年生を送 る会	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる	
	児童会・生 徒会を活 性化しま す	サミットで学校間交流 を図ります	学校や地域の課題を 把握し、課題解決に 向けて思考する子ど も	校内の各委員会活動を通じて、学校全体の安 全・安心を進めます。	創意工夫のある常時活動			創意工夫のある常時活動									継続	継続		
	子どもへ のエンパ ワメントを促 進します	CAPの活用と検証を 行います	自分の思いを言葉や 態度で表現できる子 ども	中学年でCAPの授業を行い、自分の心と体 を守る予防教育を実施し、その成果と課題を つかみます。															授業	継続
4 チー ム学	学校の組 織対応力 を向上さ せます	教師がSOSを出せる 教師集団を作ります	同僚性を高め、互いに 信頼し合える教職員	学年や専科の枠を超えて相談できる場やチー ムで対応できる体制の充実を図ります。	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	討議	継続	継続	
	多職種連携を推進し ます	互いの専門性を信頼し、連 携できる学校組織	各担当、SC、SSWがそれぞれの専門性を活かし、各 ケースに対応したチーム会議を開催します。	ケース会 議														継続	継続	
	地域ぐるみで子ども を見守ります	情報を発信し、家庭・地 域に開かれた学校	学校運営協議会、青少年育成市民会議等で、学校の様子を説 明し、地域で子どもを育むことの協力を求めます。	学校運営 協議会							スクラム会 議		学校運営 協議会		スクラム会 議	学校運給 協議会		継続	継続	

柱	方向性	基本方針		取組 具体的行動	実施時期												中期	長期		
		取組内容	目指す姿		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
校 で 取 り 組 み ま す	子どもを育む地域や関係機関との連携を行います	保育所・幼稚園・中学校の連携を強化します	中学校区における目指す子ども像の実現に向けた教育の連携を推進する保幼小中学校園所	中学校区の子どもの実態等の情報交換を行い、いじめに対する学校の指導体制・指導内容の充実を図ります。	園小中管理職打合せ会		共有	ふれあい運動会 合同防災訓練		園小中管理職打合せ会						合同防災訓練	中学校部活見学と体験授業 幼稚園との交流給食と交流授業	引継会	継続	継続
		関係機関との連携を図ります	関係機関と情報を共有し、迅速に対応できる学校組織	学校の各ケースについて、常に家庭児童相談室、青少年センター等と組織的に連携を図ります。	連携															継続
5	体罰を根絶します	体罰の禁止を徹底します	子ども一人ひとりの人権を守ることに徹する教職員	体罰・ハラスメントの根絶に向けた事例研修を実施し、教職員の人権意識を高めます。	学校通信 全校集会 研修			研修								研修			継続	継続
	あらゆるハラスメントを根絶します	あらゆるハラスメントを根絶します			学校通信 全校集会 研修			研修								研修			継続	継続